



新年特別講演会・懇親会のご案内

(社) 日本船舶海洋工学会 関西支部

平成22年の新年特別講演会は、「びわ湖の深層生態系からみた地球環境」と題して、滋賀県琵琶湖環境科学研究センターの熊谷道夫氏にご講演いただきます。水源として我々の生活に関係の深い琵琶湖ですが、その深層生態系から見える地球環境の問題についてお話しいたします。講演会の後には懇親会も予定しておりますので、多数のご参加をいただきますようご案内申し上げます。

また、1月30日(土)には、シップオブザイヤー2008を受賞した megumi による琵琶湖を巡る見学会を企画しております。これにも熊谷氏にお越し頂き、実際に水中ロボットを用いて琵琶湖の深層生態系についてご説明いただきます。こちらもふるってご参加をお待ちしております。

記

日 時：特別講演会 平成22年1月22日(金) 15:40~17:10
懇親会 平成22年1月22日(金) 17:30~19:30

会 場：神戸クリスタルタワー3階クリスタルホール
(住 所) 神戸市中央区東川崎1丁目1-3 (JR神戸駅海側すぐ)
(連絡先) 080-6135-0996 (当日のみ有効)
*特別講演会、懇親会共に本会場にて開催いたします

参加費：講演会 無料
懇親会 一般5,000円、家族・学生2,000円

講演概要

題目：びわ湖の深層生態系からみた地球環境

講師：熊谷 道夫 氏 (滋賀県琵琶湖環境科学研究センター 環境情報統括員)

<概要>

びわ湖最深部の水深は104mあり、大阪湾の水面より約20m深い。400万年の歴史を持つびわ湖の湖底に住む生物のほとんどが固有種であり、独特の深層生態系を形作っている。2007年の暖冬以後、水深90mを越える水域(第一湖盆と呼ぶ)で、溶存酸素濃度が急激に低下し、多くの魚類(イサザなど)が死亡した。このような低酸素水域(デッドゾーンと呼ぶ)は、世界中で広がっており、地球温暖化の影響が懸念されている。本講演では、流域住民とは離れた存在と思われがちなびわ湖深層生態系の目線から、広く地球環境問題を議論し、今後あるべき適応策について述べる。

お問い合わせ先

日本船舶海洋工学会関西支部事務局

TEL : 06-6879-7593 FAX 06-6879-7594 E-mail : k.office@jasnaoe.or.jp

以上